

この資料は、受講生が地域デザインカレッジのプログラムの中で考えた企画を発表用にまとめたものです。自治会や町内会が組織として作成したものではありませんのでご了承ください。

広野地区 水害に対する 住民の危機管理意識の向上

地域デザインカレッジ2022

広野町内会：板倉 直文

広野地区の課題

住民（主に高齢者）が平時は困っていないが、災害発生時（特に水害）の避難行動に課題があると感じている。



平成16年以降、大きな水害もなく、他人事のような感覚になっていた。（R4 台風15号前）

今回の教訓を生かさないと・・・



災害発生時の避難遅れ、被害拡大の恐れあり。

既存の対策

防災訓練の実施、防災講座の開催

※コロナ禍で人が集まらない

※情報が伝わらないと、水害発生時に逃げ遅れる可能性あり



そこで…

『**広野町内会版浸水・洪水資料（仮）**』を作成

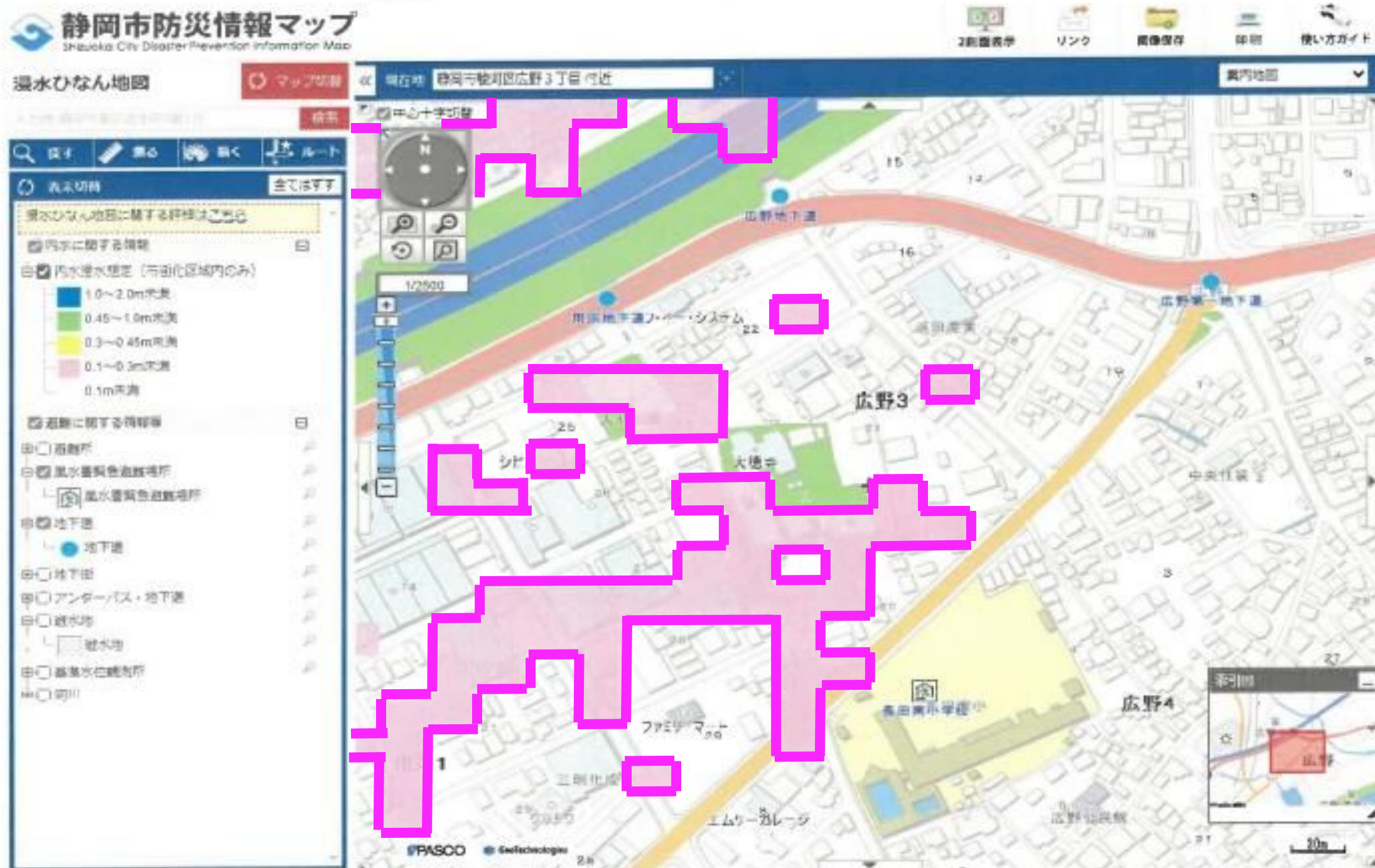


災害リスクの認知に繋げる

取り組んだこと（台風15号前）

①静岡市防災情報マップ等を活用し、町内の**浸水情報**を抽出

浸水ひなん地図（広野3丁目）



取り組んだこと（台風15号後）

②台風15号後、町内の実際の**浸水情報**を調査、マップ化



※静岡市防災情報マップの**浸水情報**との違いを発見！

取り組んだこと（台風15号後）

③『丸子川と広野1丁目の水門について』

広野1丁目の水門（上川原1号雨水幹線樋門）について・・・



令和4年9月23～24日
河川水位 3.3m位
(海拔 7.6m)

河川水位 2.0mで
広野1丁目道路と
同じ高さ (海拔 6.4m)

広野1丁目の水門は、普段は開いていますが大
大雨で丸子川の水位が2mになった場合は閉ま
ります。
(川からの逆流で洪水(内水氾濫)が起こるのを防
ぐため)



取り組んだこと（台風15号後）

④『広野町内会版浸水・洪水資料（仮）』

全**10**ページ

+浸水・洪水 予想地図（広野町内 各丁目版）

～内容紹介～

・浸水地域の変化

台風15号の被害状況を整理し、実際に浸水した場所の地図を掲載。

・河川水位の確認紹介

丸子川の写真を載せ、大雨の際の河川水位を紹介。広野1丁目の水門の開閉についての説明も掲載。

そのほか…

- ・サイポスレーダーの検索方法（PC版、スマホ版）
- ・避難する時のポイント
- ・警戒レベルと避難行動の一覧表

などを掲載

広野町内会
浸水・洪水防災資料
（仮）



これからの取組

- 『**広野町内会版浸水・洪水資料（仮）**』の改訂
 - 防災時の災害ごみ集積場所のお役立ち情報追記を検討中
 - 広野町内会 各丁目の評議員及び組長への情報発信、展開
- 『**広野町内会版浸水・洪水資料**』が完成したら…
 - 防災講座、防災訓練時の参加者への情報伝達
 - 防災訓練時の配布資料の作成、運用
 - 事前避難行動に向けて
 - 各丁目毎の防災訓練、避難行動の模擬訓練実践
 - 自家用車の避難のタイミングを伝えたい
 - 要支援者への避難支援に向けて
 - 水防団や民生委員の協力による高齢者等の安否確認訪問訓練企画